

地魚、もつたないプロジェクト」)し、メディア等を通じて魅力をアピールし販路が拡大されました。本市の漁業の振興、また市内の道の駅の活性化に大いに参考になりました。



【萩市】

阿武町は、山口県の北部に位置して日本海に面し、陸地部分は萩市に囲まれています。町の面積は115・95km²で第一次産業が主体の町です。『うもれ木の郷』は平成9年2月に宇生賀地区(伊豆、三和、上万、黒川)の4集落、66戸の構成員でスタートしました。宇生賀地区は堰止湖であるため、栽培が困難な状況がありました。このため、担い手となる法人の農地の利用集積を図ることで、4集落に跨

る農地を一括管理する『一団地一農場方式』を構築され大型機械化体系を実現し、高収益作物の導入を推進されました。また4集落の女性が共に活動するサークル(四つ葉サークル)が組織され、地場産大豆を使った豆腐の製造などの6次産業化に取り組まれています。大学生や企業、地元の小中学生とも交流を行い、宇生賀地区をアピールし、Iターンでの新規就農者の受け入れも行われています。

全国的に農業従事者の高齢化、後継者不足など、農業を取り巻く環境は日々厳しさを増しています。その中で、集落を跨いだ農事組合法人の設立や、女性の力を活かし6次産業化の推進をしてきた『うもれ木の郷』の取り組みは、本市での今後の農業の活性化に大いに参考になるものでした。

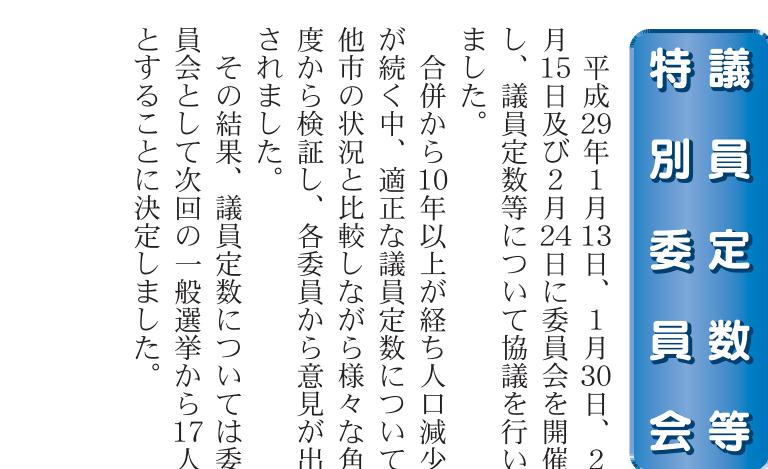
【電源開発(株)若松総合事業所】

若松総合事業所は昭和38年に電源開発(株)の初の火力発電所として運転開始した『若松火力発電所』が前身。平成元年に火力発電所として役割を終え、現在では石炭灰による埋立事業、技術開発、人材育成等の拠点として、将来の事業展開を見据えた活動が行われています。若松総合事業所の敷地面積は約190haで、既埋立地85ha、埋立中106haなつており、松浦火力発電所と西海市の松島火力発電

所からも運ばれる石炭灰を使って埋立が行われています。その埋立地の一部を利用しカゴメ(株)と共同で響灘菜園(株)が設立され、西日本最大のトマト栽培施設を経営しています。総面積8.5haの大規模温室で年間最大3千トンのトマトを生産し、ピーク時には180人、常時50~160人が雇用され

所からも運ばれる石炭灰を使って埋立が行われています。その埋立地の一部を利用しカゴメ(株)と共同で響灘菜園(株)が設立され、西日本最大のトマト栽培施設を経営しています。総面積8.5haの大規模温室で年間最大3千トンのトマトを生産し、ピーク時には180人、常時50~160人が雇用され

所からも運ばれる石炭灰を使って埋立が行われています。その埋立地の一部を利用しカゴメ(株)と共同で響灘菜園(株)が設立され、西日本最大のトマト栽培施設を経営しています。総面積8.5haの大規模温室で年間最大3千トンのトマトを生産し、ピーク時には180人、常時50~160人が雇用され



特別委員会の動き

西九州自動車道整備促進特別委員会

特議員定数等

国内有数の火力発電所を有する本市にとって、石炭灰の活用は大変興味深いものであり、今後の活用法について大いに参考となりました。